



ぶっく★まーく

編集スタッフのおすすめ

機

このコーナーでは、情報・図書コーナーの中から、本紙スタッフがピックアップした本を紹介しています。

この他の本も、ぜひご利用ください。※書籍下の番号はセンターでの検索番号です。



災害時に役立つかんたん時短、「即食」レシピ
もしもごはん

2016年 清流出版
今泉 マユ子 (著)

災害時の「食」はとても大切。食べ物への準備の仕方だけではなく、おいしそうなお飯が写真とレシピ付きで紹介されている。普段に取り入れて「もしも」に備えよう！（ルナ）

[100-3]



子どもに障害をどう説明するか
—すべての先生・お母さん・お父さんのために—

2005年 プレイン出版
相川 恵子、仁平 義明 (著)

どうして？に先生や親はどう答えるのか。実際の説明を調査し、その背景の気持ちや考えを紹介する本。周りの子も含め皆にあなたをひとりにしないと伝えたい。（ぽっと）

[900-0]



「ふつうの子」なんて、どこにもいない

2019年 家の光協会
木村 泰子 (著)

「ふつうに囚われず、生きる力の基礎を身につけてほしい」と子どもの学習権を保障することを目指した小学校の元校長が熱く語る。そのために大人のできることは？（ルナ）

[900-1]



14歳の世渡り術
14歳からわかる生活保護

2012年 河出書房新社
雨宮 処凛 (著)

札幌市で40代姉妹の餓死事件が発生した。支援を受けられなかったのはなぜ？見えてきたのは生活保護受給までの困難さ。本書で制度・仕組みを学び、生き抜く知識を。（みっと）

[1000-1]



家事調停委員の回想
—漂流する家族に伴走して

2017年 富山房インターナショナル
中島 信子 (著)

委員として携わった著者が、調停を具体的にイメージできるように内側の目線で書いた本。離婚や遺産分割などの「穏やかな法的解決手段」として身近にある。（ぽっと）

[1100-3]



涙をなくした君に

2019年 新潮社
藤野 恵美 (著)

夫と小学1年生の息子とで暮らす橙子。父親から受けた暴力の記憶に苦しみながら家族への愛を育てていくが…。愛されずに育った女性の心の叫びが聞こえてくる物語です。（みっと）

[1200-2]

新着図書情報(一部抜粋)

図書名	検索番号	著者	出版社
ほどよい距離でつきあえる こじれないNOの伝え方	100-4	八巻香織 (著)	太郎次郎社エディタス
炎上CMでよみとくジェンダー論	700-3	瀬地山角 (著)	光文社
夢を描く女性たち イラスト偉人伝	1100-2	ポムアラム (著) 尹怡景 (訳)	タバックス
彼女たちの部屋	1200-2	レティシア・コロソニ (著) 齋藤可津子 (訳)	早川書房
みずをくむプリンセス	2000	スーザン・ヴァーデ (著)、他	さ・え・ら書房

編集後記

新緑を見て、「自然は変わらず芽吹くなあ」と、不安になる気持ちを長い時間軸でとらえられるようになりました。ぶっくまーくの編集会議も回数を減らしてメールを駆使。会って話すからその良さがあるけれど今はできない。機転を利かせて機知に富んだ行動で続けていきたい。ぶっくまーくは新型コロナ禍も乗り越えていく。（ぽっと）